

令和2年度 石狩市教育委員会会議（10月定例会）会議録

令和2年10月27日（火）
第2委員会室

開会 13時30分

○委員の出欠状況

| 委員氏名 | 出席 | 欠席 | 備考 |
|-------------|----|----|---------|
| 教育長 佐々木 隆 哉 | ○ | | |
| 委員 門 馬 富士子 | ○ | | 教育長職務代理 |
| 委員 松 尾 拓 也 | ○ | | |
| 委員 山 本 由美子 | ○ | | |
| 委員 穴 水 正 | ○ | | |

○会議出席者

| 役 職 名 | 氏 名 |
|-----------------|---------|
| 生涯学習部長 | 安 崎 克 仁 |
| 生涯学習部理事 | 西 田 正 人 |
| 生涯学習部次長（教育指導担当） | 石 橋 浩 明 |
| 総務企画課長 | 松 永 実 |
| 学校教育課長 | 伊 藤 英 司 |
| 社会教育課長（兼公民館長） | 板 谷 英 郁 |
| 文化財課長 | 工 藤 義 衛 |
| 厚田生涯学習課長 | 相 原 真 一 |
| 学校給食センター長 | 櫛 引 勝 己 |
| 生涯学習部参事（指導担当） | 山 田 潮 |
| 総務企画課総務企画担当主査 | 鎌 田 晶 彦 |
| 同上 | 扇 武 男 |

○傍聴者 なし

議事日程

日程第1 署名委員の指名

日程第2 議案審議

議案第1号 教育委員会の点検・評価報告書（令和元年度実施分）について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

- ① 令和2年度（第9回）図書館を使った調べる学校コンクール「石狩市コンクール」の審査結果について
- ② GIGAスクール構想に対しての取組状況について

日程第5 その他

日程第6 次回定例会の開催について

開会宣言

（佐々木教育長）ただ今から、令和2年度教育委員会会議10月定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名

（佐々木教育長）日程第1 会議録署名委員の指名ですが、穴水委員にお願いします。

日程第2 議案審議

（佐々木教育長）日程第2 議案審議を議題とします。

議案第1号を審議する件について

(佐々木教育長) 議案第1号「教育委員会の点検評価報告書(令和元年度実施分)について」、事務局から提案願います。

(安崎生涯学習部長) 議案第1号について、地方教育行政法第26条の規定により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関する学識経験者の知見を活用して点検評価を行い、結果を議会に提出するとともに公表しているものです。令和元年度分については、6月定例会からこれまで、継続協議としていましたが、今月6日に外部評価委員会を開催し、その内容が固まりましたので、これを決定しようとするものです。外部評価委員会の意見内容などの詳細を松永総務企画課長からご説明します。

(松永総務企画課長) 私から議案第1号について、ご説明いたします。安崎生涯学習部長から説明がありましたとおり、今月6日に開催しました外部評価委員会において、3名の委員により報告の内容についてご審議をいただきました。この報告書の41頁から42頁に記載のとおり、教育委員会の活動状況と施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性として、3つの重点テーマと各施策・大項目ごとにご意見をまとめていただきました。

まず、1「教育委員会の活動状況について」ですが、伊井委員長から、この報告書の5頁に記載のありました、本年3月5日開催の教育委員会会議3月臨時会で報告された、新型コロナウイルス感染症の対応について、「石狩市教育委員会としてどのような対応をしたのか」というご質問を受けまして、本年2月27日から学年の修了日となった3月24日までの間の臨時休業中に行った、子どもたちの生活指導、家庭学習の取組に係わって、特に「分散登校」を行って、子どもたちの健康状態や学習状況の把握に努めたこと、加えて保健福祉部と連携して行った「子どもの緊急居場所対策」として、学校での一時預かり事業を実施したことを説明し、これまで前例のない難しい対応が求められた中で、それらの取組が適切に行われたことに対し、評価をいただきました。また、本年4月に開校した厚田学園と、新たな統合校である石狩八幡小学校の2校の学校整備や新学習指導要領に対応した授業が適切に行われるよう、加配教員や外部指導者等の配置、研修の実施といった人的な支援と、市内の全部の普通学級へ電子黒板を3ヶ年で設置し、充実したICT教育を行うための学習環境の整備といった、ハードとソフトの両面からの各種施策事業が展開されてきたことに対する評価をいただきました。また、今年度から新たにスタートした、向こう5ヶ年の新教育プ

ランが掲げる目標や教育理念に基づき、計画的に様々な教育施策が推進されることを期待するといったご意見もいただきました。

次に、2「施策別の取組状況、分析・評価、今後の方向性等について」です。まず、重点テーマ1、「自ら学ぶ意欲を育てる教育」については、生きる力につながる確かな学力を育むという観点から、指導主事や学校教育主事による学校改善、学習指導改善の取組の成果として、この報告書の10頁に記載のあるCRT標準学力検査において、平成28年度の小学5年生の算数が全国平均に対する割合93.3であったのが、当該学年の3年後の中学2年生の実績値が96.4となり、着実に上昇した点に触れられ、学習指導改善サイクルの充実と各種の連携支援事業によって得られた今回の成果、課題の検証、分析・評価を今後も進められ、子どもの主体的な学びの質を高めるための一層の改善・充実を望むといったご意見をいただきました。また、教育支援センターを中心に各学校や関係機関と連携して得た知見や成果を共有し、子ども一人ひとりの思い、教育的ニーズを大切に、それに寄り添う支援の在り方を追求され、一層の充実を図って行くこと、さらには、地域と共に歩む学校づくり、子どもにとって魅力ある学校づくりを進めるにあたって、コミュニティ・スクールの制度導入と、保護者や地域の共感、協力が得られる教育活動を推進するためには、教職員の働き方改革に留意しながら、教職員が協働してより良い学校づくりに取り組めるよう、人的配置等を含めた条件・環境整備が図られ、充実されるよう希望する旨のご意見をいただきました。加えて現在進められている文科省によるGIGAスクール構想に基づき、家庭環境に関わらず、全ての子どもが平等に双方向で学ぶことができるよう、必要な環境整備と適切な運用への支援を望むこと、生活困窮世帯の子どもへの学習支援については、具体的取組例として、市役所1階のロビー等で保健福祉部の家庭生活支援員によって、学習支援が行われていることにも触れられ、「福祉と教育の一層の連携した取組を望む」といったご要望、ご意見をいただきました。

次に重点テーマ2、「思いやりと豊かな心・健やかな体を育む教育」については、子どもたちの豊かな人間性と感性を育むという観点から、特に中学生で顕著となった読書離れの対応策として、学校司書を通じて、学校司書が校長・教頭等の意見を取り入れながら一層の対策、検討が行われるよう要望をいただきました。また、石狩管内では最も多い3名のスクールソーシャルワーカーを配置している本市の事業について、これまでの成果を市内外に周知すること、キャリア教育やパートナーズクール(学校間交流)といった様々な体験的活動を通して学びを深め、豊かな心の醸成を図って行くこと、さらには不登校になりがちな児童生徒への学びを保障する手立ての工夫として、例えば、オンラインでの授業への参加や、学校だけではなく「ふらっとくらぶ」や民間のフリースクール等、どこかで学ぶことができ、社会的に自立できる力をつけることができるよう支援し

ていくことについても、ご要望をいただきました。

次に重点テーマ3、「地域で育ち・学び・生きる教育」について、10年ほど前から本市が行ってきた学校支援地域本部事業を中心に、今後なお一層地域全体で子どもを育てていく意識、機運の醸成が図られること。子育てに悩む親へのサポート体制や昨今の不審者情報、不審者事案が多くなっていることを踏まえ、子どもの見守り活動や子ども110番事業のさらなる充実が図られることについて要望いただきました。また、現在のコロナ禍において、市民の学習活動や芸術文化活動について、日頃の成果を発表する機会も失われている中ではありますが、市民の多様化する学習するニーズを統合して、生涯学習へと組織化をするために、専門的スキルを有した人材の育成と、活動支援の体制が充実されることについて、要望をいただきました。さらには、今年で開館から20年を迎えた市民図書館について、これからの図書館が果たすべき、新たな役割や取組を考えながら、利用者数、来館者数が増加すること。引き続き蔵書の充実を行って、利用者の興味関心に働きかける資料展示の工夫を行っていくことについてのご要望をいただきました。また、「ふるさと石狩」をキーワードに、故郷を学ぶためには実物に触れ、体験を通じた活動が重要であるにも関わらず、現在のコロナ禍の影響で、それがなかなかできない状況であるため、インターネット上の仮想空間での学びも推進するなど、様々な方策で、実物が身近に感じられるような展示の工夫を望むこと。今年で設立60周年を迎えた石狩市郷土研究会がこれまで取り組まれてきた活動と成果への敬意と、今後も本市の文化財が収集され、その価値が評価をされて、保護、保存される取組が展開されていくこと。そして、そういった取組が官民で連携する、または、市民との協働によって系統的に行われて、市民のふるさと意識や「石狩ファイル」といった石狩にまつわる資料が作成され、市民のふるさと学習に寄与されることを望むといったご意見をいただきました。

以上が外部評価委員会の中で、3名の委員からいただいた一部特徴的なものも含めた意見・要望の概要ですが、最後に伊井委員長から、「来年度の点検・評価については、新型コロナウイルス感染症の影響で、数値的にはおそらく厳しいものが出てくるのが予想されるが、数値に現れない取組や評価について、文章で表現していただくことで、石狩市の教育の特色を検証できれば」とのお言葉をいただきました。教育委員会としましては、そういった温かいお言葉をいただきながらも、今年度スタートした新教育プランに掲げる各種施策や成果指標を十分に意識し、その進捗状況についても管理しながら、今回いただいたご意見をこれからの本市の教育にしっかり活かし、反映されるよう各所管で取り組んでまいりたいと存じます。教育委員の皆さんにご審議のうえ議決をいただきましたならば、本報告書の市議会への提出と、市ホームページに掲載し公表する運びでございます。以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(佐々木教育長) ただ今、説明がありました議案第1号について、質問等はありませんか。

質問なし。

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、議案第1号について、原案通り可決したいと思いますがお異議ありませんか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、議案第1号について原案通り可決いたしました。

日程第3 教育長報告

(佐々木教育長) 次に、日程第3 教育長報告を議題とします。10月定例会での教育長報告につきましては、お手元にお配りしています資料をご覧ください、報告に代えさせていただきます。また、併せて市議会決算特別委員会の質疑要旨をお配りしていますのでご覧いただきたいと思います。その中で、ご質問があれば受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

(門馬委員) 教育長報告の中で、10月9日「厚真けん玉クラブ斉藤代表と懇談」とありますが、これはどのようなことですか。

(佐々木教育長) この日は、花川南小学校で行った「あい風寺子屋教室」に講師として、厚真町教育委員会の社会教育主事の斎藤さんを講師としてお招きをして、学校へ向かう前に表敬訪問をされたということです。

(門馬委員) この場合は、交通費等石狩市で負担するのですか。

(板谷社会教育課長) 謝金は支給せずに、交通費のみを支給しています。

(門馬委員) わかりました。

(穴水委員) 決算特別委員会での松本委員からの質問の中で、いじめの認知件数について質問がありましたが、回答された認知件数はいつの時点のものか教えていただきたい。

(安崎生涯学習部長) 決算特別委員会での答弁ですので、令和元年度の数値を報告しています。

(穴水委員) 認知件数につきましては、最近、大きく記事として扱われており、相当数、増加の傾向が見られるということが書かれていますので、この決算特別委員会で回答された数値が、現時点での数値であれば増加傾向等をお聞きしたいと思い質問いたしました。

(松尾委員) 決算特別委員会の阿部委員からの時間外転送電話導入についての質問がありましたが、この回答はこの時点の認識ということで理解いたしますが、今後は情報共有のあり方等検討して行かなければならないとの認識でよろしいですか。

(伊藤学校教育課長) 先日発生した、緊急事態時に学校との連絡が取れなかったことがありましたので、今後については、改善をしていくとの認識をしています。

(松尾委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他にございませんか。

質問なし

(佐々木教育長) 質問等がないようですので、教育長報告については、了承ということよろしいですか。

異議なし

(佐々木教育長) 異議なしと認め、教育長報告については了承をいただきました。

(佐々木教育長) 以上で、日程第3 教育長報告を終了いたします。

日程第4 報告事項

(佐々木教育長) 次に、日程第4 報告事項を議題といたします。

報告事項① 令和2年度(第9回)図書館を使った調べる学習コンクール「石狩市コンクール」の審査結果について

(佐々木教育長) 報告事項①、「令和2年度(第9回)図書館を使った調べる学習コンクール「石狩市コンクール」の審査結果について」、事務局から説明願います。

(西田市民図書館長) 私から、報告事項①についてご報告いたします。資料の1頁から3頁となります。審査会は本月13日市民図書館において、5名の審査員のもと審査が行われています。審査員としては、校長会からは、図書館協議会委員である水崎浜益中学校長、教頭会からは、鶴羽花川小学校教頭、中川石狩南高等学校学校司書教諭、加藤花川小学校司書と私を入れて5名の審査員となっています。応募点数は昨年度501点でしたが、今年度は、コロナ禍の中で夏休みが短くなるなど制作に余裕がない環境の中、大変な時期にも関わらず、小中併せて318点の応募をいただきました。部門は小学1・2年生、小学3・4年生、小学5・6年生、そして中学生と4部門となっており、それぞれに最優秀賞、優秀賞、佳作、奨励賞を選考しました。その結果、最優秀賞4点、優秀賞7点、佳作13点、奨励賞12点となっています。各賞の受賞者につきましては、学校学年作品別に掲載のとおりとなっています。

次に、審査後の予定ですが、例年開催している「図書館まつり」の会場にて、表彰式を執り行ってきましたが、今年は、まつり自体の開催が中止となりましたので、各学校を通じ受賞者に表彰状と副賞をお渡しいただく手筈となっています。また、全国コンクールへの応募ですが、応募数は応募点数の2%となっておりますので、今年は7点応募することができます。最優秀賞4点と優秀賞7点の中から3点を選考し、資料に記載のとおり計7点を全国コンクールへ応募します。全国コンクールの結果につきましては、年明け1月8日に発表予定ですので、発表後速やかに各学校へ通知いたします。作品の返却につきましては、主催団体である「公益財団法人 図書館振興財団」より参加賞が市民図書館へ届きますので届き次第、参加賞とともに作品を、学校を通じて返却いたします。最優秀賞をはじめ、優秀賞、佳作につきましては、既に先週の24日(土)から市民図書館において、レプリカの展示をおこなっており、展示期間は11月22日までとなっております。

ります。私からは以上です。

(佐々木教育長) ただ今の説明にご質問等ございませんか。

(門馬委員) これらの賞を選考の結果、どの賞にも該当しない学校はなかったということでしょうか。

(西田市民図書館長) ございません。それらを考慮した中で選考しております。

(門馬委員) わかりました。安心いたしました。

(佐々木教育長) 他にご質問等ございませんか。

質問等なし

(佐々木教育長) 質問等がありませんので、報告事項①については了解ということでしょうか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、報告事項①は了解しました。

報告事項② G I G Aスクール構想に対しての取組状況について

(佐々木教育長) 次に、報告事項②「G I G Aスクール構想に対しての取組状況について」、事務局から説明願います。

(伊藤学校教育課長) 私から、児童生徒1人1台端末のほか、学校におけるICT環境の整備を実現するG I G Aスクール構想に関して、現在における取組状況を報告いたします。はじめに、各学校の通信ネットワーク環境の見直しですが、9月に契約が完了し、この工事を実施するための事前の現地調査を現在行っているところです。1校当たり1日をかけて、天井裏を含む配線経路の確認のため、現地調査を実施しているところであり、予備日を含めて11月4日を目標に完了する予定です。この現地調査完了ののち、11月中旬からネットワーク工事をを行い、すべての学校における工事の完了は1月末を予定しています。

続きまして、児童生徒1人1台端末の整備について、現在、契約に向けて最終調整を行っているところです。導入するソフトウェア等のところで若干確認事項等がありまして、時間がかかっているところではありますが、今月中に契約をすることができるよう取り進めているところです。各学校に対しては、1月末から2月末の間に整備が出来るよう予定しているところです。なお、現在における予定ですが、端末としては、OS（オペレーション・システム）についてはウィンドウズ、2in1と呼ばれる着脱式のキーボードが付いたタブレットとしても、ノートパソコンとしても使用可能なものの導入を予定しているところです。

次に各学校の教室に設置する、児童生徒用端末の保管充電用キャビネットについて、これは最初に説明しました、ネットワーク整備工事の際に、まとめて実施することを予定しており、1月末までに整備を完了する予定としています。

次に、緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備について、学校の臨時休業など緊急時における家庭でのオンライン環境の整備ということで、家庭にインターネット環境がない世帯に対して、貸出用のWi-Fiルータを整備するというものです。家庭におけるインターネット環境の調査につきましては、購入予定台数把握のため、5月に無記名での調査を実施していますが、今後貸与に必要な家庭把握のため、記名による調査を実施予定としているところです。また、遠隔学習用の教師が使用するウェブカメラについては完了しており、今後各学校に貸与する予定としています。

その他の部分ですが、教員用の公務用端末についても更新予定としていて、端末、ネットワークともに整備の予定としています。これにつきましても、はじめに申し上げた通信ネットワーク見直しの工事と同時にネットワークについては予定しており、端末についても、2番目に説明いたしました児童生徒用端末と同時に納入の予定で、これについても2月末の導入予定としています。私からは以上です。

（佐々木教育長）ただいまの説明にご質問等ございませんか。

（穴水委員）各学校の通信ネットワークの環境の見直しで、現行で校内のWi-Fiが稼働している学校もあるかと思いますが、それと比較して今回設置されるものの速度は高速になると考えていますが、いかがでしょうか。

（伊藤学校教育課長）現在、各学校に設置した通信ネットワークについては、設置した年が古いということもあり、高速ではないとの認識ではあります。今回設置をする通信ネットワークについては、1ギガ以上を予定しており、一定程度通信の速度については確保されるものと考えています。

(穴水委員) わかりました。もう1点お聞きします。2つ目の児童生徒1人1台端末の整備について、まだ内容を調整中ということで、決まっていないとは思いますが、10月20日付けで文部科学省から「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について」という通知が発出されています。それとの関わりで、道教委ではオンライン研修を「ZOOM」というソフトを使って行っていますが、この通知では端末の環境に含まれる機能等を利用する場合として、「Office 365 Education の機能のうち Microsoft Forms」というものと「G Suite for Education の機能のうち Google フォーム」という2つを取り上げ、家庭とのデータのやり取りを例示しています。教育機関においては、このソフトのどちらでも無償でアカウントを取得等が可能となっています。現在内容を調整中ということですが、市教委としてオンライン会議システムの導入まで検討されているのか、それともそのことについては、各学校に委ねることになるのか教えてください。また、オンライン会議システムの導入まで検討されている場合は、どのようなシステムを導入する予定なのか教えてください。

(伊藤学校教育課長) ただ今、ご質問いただきました文部科学省からの通知の件ですが、マスコミを通じた情報として認識しているところですが、道教委からの通知はまだ届いていない状況です。詳細については把握しておりませんが、今後導入に向けての中で、しっかりと検討して参りたいと考えています。また、会議の際のソフトウェアについては、現在明確に市教委として方向性を持っておりません。これにつきましても、今後の中でしっかりと取り進めて参りたいと考えています。以上です。

(佐々木教育長) 今後、臨時休業となった場合は、遠隔によるリアルタイムでの対面授業も求められると思いますので、その場合、このオンライン会議システムを使用する流れにはなると考えています。

(穴水委員) あらかじめ導入しておけば、学校間でもやり取りが可能となりますので、可能であれば共通して利用できるものを導入することがよろしいかと思えます。

(伊藤学校教育課長) わかりました。

(佐々木教育長) 道教委からは、文部科学省からの通知に様々な情報をプラスし

て通知することがあります。市町村教委の現場では、道教委からの通知も併せて、受け止めて対応等を考えるパターンが結構あるという意味を込めての担当課長からの回答だったと思います。

(穴水委員) わかりました。

(佐々木教育長) 他に質問等ございませんか。

質問等なし

(佐々木教育長) 質問等がありませんので、報告事項②については了解ということによろしいでしょうか。

異議なし

(佐々木教育長) ご異議なしと認め、報告事項②は了解しました。

日程第5 その他

(佐々木教育長) 次に日程第5、その他を議題といたします。教育委員の皆さんから何かございますか。

その他なし

(佐々木教育長) 事務局からありませんか。

(安崎生涯学習部長) ありません。

(佐々木教育長) それでは、日程第5 その他を終了します。

日程第6 次回定例会の開催について

(佐々木教育長) 次に日程第6、次回会議の開催日程を議題といたします。次回は11月17日(火)10時00分からということで、よろしくお願いいたします。

閉会宣告

(佐々木教育長) 以上をもって、10月定例会の案件は全て終了いたしました。
これをもちまして、令和2年度教育委員会会議10月定例会を閉会します。

閉会 14時17分

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和2年11月17日

教育長 佐々木隆哉

署名委員 穴水正